



薬剤溶出ステントはBMSと比較して、臨床成績を大きく改善させることに成功し、日々の臨床に飛躍的な革新をもたらした。現在日本では様々な薬剤溶出ステントの使用が可能になったが、製品ごとにその特徴や性能が異なるため、本セッションでは病理学で著名なDr. Virmaniをお招きし、日々の治療におけるステントの選択の参考になるよう、病理学の観点から各ステントの特徴や性能についてご講演いただく。また次世代の薬剤溶出ステントとして、最も期待の大きい生体吸収性スキャフォールド (BVS) について、オランダより小沼先生をお招きし、BVSの基礎と最新情報をご講演いただく。

循環器領域の現在と未来 - 今を知り、将来の展望を知ることで、日々の治療の向上について考えていく。

## Abbott Vascular Sponsored Luncheon Seminar

# Today and The Future - Abbott Vascular Innovation Preview -

**日時** 2012年11月3日(土) 12:30~13:30

**会場** 神戸国際展示場 2号館1F Main Theater

**座長** 山根 正久 先生 Masahisa Yamane  
医療法人財団石心会 狭山病院 Sekishinkai Sayama Hospital

阿古 潤哉 先生 Junya Ako  
自治医科大学附属さいたま医療センター  
Saitama Medical Center, Jichi Medical University

**演者** Bioabsorbable Drug-Eluting Scaffolds are the Future!

小沼 芳信 先生 Yoshinobu Onuma  
Thoraxcenter Erasmus University Medical Center, Netherland

What We Are to Expect from Newer-Generation DES  
- A Pathological Perspective -

Renu Virmani, M.D.  
CVPath Institute, USA

